

デザインで差別化

住替え前提の都市型住宅

札幌・ベストホーム

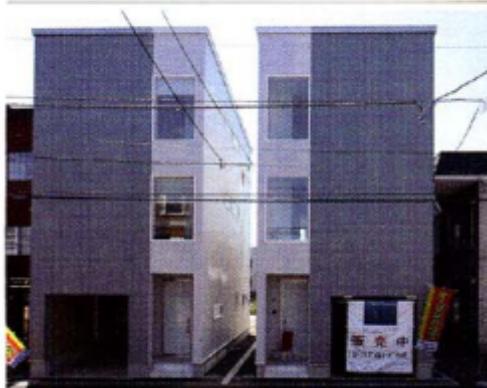
地下鉄駅に近い都市の暮らしと利便性、スタイリッシュでモダンなデザインを一次取得者が手に入る価格で、札幌市北区の地下鉄麻生(あさご)駅にほど近い北向きの間口の狭い敷地に、デザインの統一感を意識した2棟の木造3階建て建売住宅が発売された。老後の住み替えを前提に大胆なプランと売却時の資産価値を実現するため、若手の建築家が設計した。

札幌の市場に変化

狭小敷地の建売がヒット

建住宅は老後の生活には必ずしも便利ではないと、に応じた住み替えを考え、「ライフステージ

札幌の戸建住宅市場はここ数年変化を見せていく。都心回帰志向が強く、マンションの購買層をターゲットにした、地下鉄駅から近い狭小敷地の建売住宅がヒットしている。立地条件、価格が周辺のマンション並みという手頃さと、プライバシーや駐車場確保など戸建住宅のメリットが評価されているようだ。



北入り玄関だが閉塞感を感じない外観。側壁は光をコントロールするための小窓が並んでいる

定して売却時になるべく抑えながら高い強度を実現するため組込車庫の入口と玄関部分に門型ラーメンフレーム構法を採用した。



2階から上の階段は謎こみがなく、手すりも細い素材で目立たなくしている。金属の素材感だけではクール過ぎるので、木質建材と明かり取りの窓を設けて温かみも演出を入れた。

消費者へ安心を提供する上必要ならば門型ラーメンなど新しい工法にも設計事務所に依頼、チャレンジする。